

八潮市議会議員 あさだ和宏(43歳)無所属(民主・市民クラブ)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために… **和宏のほっとかない!!** **NEWS** vol.42〈3月議会報告〉

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成23年4月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



プロフィール

1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在43歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
01年 (社)八潮青年会議所理事長
(青年会議所の事業を通して、
政治のあり方・教育問題に関心を持つ)
01年 9月市議選に立候補
(最年少候補(当時)33歳)
1229票12位当選
05年 9月
2度目の市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選
09年 9月
3度目の市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選
現在、3期目(民主・市民クラブ)
専修大学 法学部(2部)現在4年生

所属団体

地方政治改革ネット 会員
青年地方議員の会 会員

ホームページ

あさだ和宏

検索

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による東北関東大震災で、お亡くなりになりました方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

震災当日、市内においても大きな揺れを観測しました。一部の地域では液状化と見られる現象が発生しましたが、幸いにも市内では大きな被害は報告されませんでした。

震災から約一ヶ月以上が経過をしましたが、被災地では多数の行方不明者の捜索や瓦礫の撤去作業が自衛隊や消防団、自治体職員、ボランティア等、多くの皆様の協力によって日々行われています。今後、長期間を要することが懸念されていますが、復興にむけて一歩、一歩、前へ進んでいます。

今回、震災の影響で原子力発電所の事故も発生し、今まで予測をしていなかった想定外の事態となり、改めて「危機管理」の重要性を再認識いたしました。市(行政)として対処できることは限度がありますが、本市の防災計画等の見直し、再検討をする必要があると強く感じました。

今回の震災は甚大であり、我が国の歴史に残る災害となりました。しかし、今回の災害を通して、忘れかけていた「日本人としての誇り、優しさ、お互いを敬い、助け合う心」を再確認する機会になったと私は感じています。

被災地から離れていても、日本中、世界中の人々が被災地の皆様を心配し、応援をしています。被災していない地域の皆さんは、被災地のことを思い、一人一人ができることを続けることが大切だと私は思います。

「がんばろう東北!・がんばろう日本!」

八潮市議会議員 あさだ和宏

本市の救援物資受け入れ状況(3月18日~3月31日)

●粉ミルク(缶)	169
●オムツ(枚・袋)	3,206
●生理用品(袋)	1,337
●衣類	4,036
●靴下	2,581
●タオル	7,233
総受け入れ件数	1,130件



市民、企業の皆様
ご協力有難うございました。

※3月25日・26日の
両日、文化スポーツセン
ターにおいて、市民ボラン
ティアの皆さんと共に、上
記の品物を分別し、ダン
ボールに梱包しました。

3月議会の報告

平成23年第1回八潮市議会定例会が、2月28日に開会し、3月16日に閉会しました。今議会には平成23年度会計(一般・特別)予算を含む、議案総数30件が上程され、29件が原案の通り可決、承認されました。

(「八潮市みんなで作る美しいまちづくり条例」のみ継続審査)

また、14日、16日、17日の3日間予定されていた「一般質問」は、11日に発生した震災の対応を考慮し、質問を予定していた議員全て(16名)質問を取り下げました。

平成23年度の一般会計予算 **260億9,000万円** (前年度比2.8%増)

平成23年度一般会計予算における重点事業

1 かいてき：新時代を支える都市の形成

①駅周辺の顔づくり事業の推進	1,730,623千円
②八潮南部地区の町名策定	2,312千円
③都市計画基礎調査(大規模)の実施	4,800千円
④土地区画整理事業への負担金・繰出金	1,141,466千円
⑤北部地区の整備計画の作成	15,000千円
⑥八潮街並みづくり100年運動促進事業	2,500千円
⑦都市計画道路網構想の見直し	10,000千円
⑧公共下水道事業への繰出金	1,030,000千円
⑨都市下水路の整備	9,600千円

2 やすらぎ：心やすらぐ安全な生活環境の形成

①公園の整備及び改修	53,955千円
②葛西用水の親水化整備(第3期工事ほか)	38,472千円
③市民参加による自然環境調査の実施	3,255千円
④リサイクルプラザ周辺の環境整備	53,447千円
⑤一般廃棄物処理基本計画の作成	5,250千円
⑥新エネルギー等活用システム設置に対する補助	5,000千円
⑦消防施設整備事業	53,690千円

3 ふれあい：明るく生きがいにみちた社会の形成

①町会集会所の建設及び改修に係る補助	12,065千円
②地域福祉計画の策定	6,680千円
③子ども手当支給事業	2,124,712千円
④病児病後児サポート事業の実施	882千円
⑤学童保育所管理運営事業の充実	134,100千円
⑥救急医療情報キットの配布	451千円
⑦高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	4,263千円
⑧障がい者行動計画・障がい福祉計画の策定	4,705千円
⑨障がい者福祉施設の運営	26,915千円
⑩健康づくり行動計画の策定	1,387千円
⑪ウォーキングマップの作成	365千円
⑫子宮頸がん等ワクチン予防接種の実施	121,718千円

(新…新規事業)

4 ちから：活気あふれる産業の形成

①中小企業資金融資事業の充実	217,609千円
②八潮市観光協会に対する補助金の交付	5,100千円
③住宅手当緊急特別措置事業の実施	46,223千円
④緊急雇用創出事業の実施	55,700千円
⑤若年者の雇用定着支援に係る補助金の交付	600千円
⑥消費者行政活性化事業の実施	4,052千円

5 はぐくみ：明日の八潮を担う人づくり環境の形成

①八潮Basic発展版の作成	962千円
②ノーゲーム、ノーテレビ、ノー携帯の日の実施	438千円
③指導要領改訂に伴う教師用教科書等の購入	23,676千円
④特別支援学級の新設	476千円
⑤学校元気づけ支援制度の創設	945千円
⑥小学校校舎の増築に係る設計・改修工事の実施	45,560千円
⑦小中学校校舎等の耐震補強・大規模改修工事	51,480千円
⑧通学区域の見直し	425千円
⑨市民文化会館ホール音響設備の改修	7,886千円
⑩やしおふれあい親子健康マラソンの実施	1,545千円
⑪北公園テニスコートの改修	3,350千円
⑫平和都市宣言事業	1,009千円

6 すいしん：市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成

①市制施行40周年記念事業	3,391千円
②市広報ビデオ・市民ガイドマップの作成	3,963千円
③やしお市民まつりへの補助	5,000千円
④コンプライアンス研修の実施	158千円
⑤住民基本台帳法改正に対応するシステム改修	28,665千円
⑥公共施設における地番表示プレートの設置	108千円

※市広報誌より

八潮家の家計簿

八潮市の平成23年度一般会計予算を「八潮家の家計簿」として、市民1人あたりに置き換えると(※)と、おおよそ以下のとおりとなります。※予算額を「82,688人」(平成23年2月1日現在人口)で割り、千円未満を四捨五入しています。

収 入(歳入)			収 出(歳出)		
区 分	金 額	金 額	区 分	金 額	金 額
①給与(市税)	171,000	54.1%	①食費(人件費)	70,000	22.2%
②実家からの援助(国・県支出金、地方交付金など)	84,000	26.6%	②医療費(扶助費)	67,000	21.2%
③雑収入(諸収入)	25,000	7.9%	③衣料代・光熱水費(物件費)	50,000	15.8%
④銀行からの借入(市債)	21,000	6.6%	④借金の返済(公債費)	36,000	15.8%
⑤家賃収入(分担金、負担金、使用料・手数料など)	6,000	1.9%	⑤家の増改築費(普通建設事業費)	33,000	11.4%
⑥前月の余剰金(繰越金)	6,000	1.9%	⑥子どもへの仕送り(繰出金)	32,000	10.5%
⑦預金取り崩し(繰入金)	3,000	1.0%	⑦自治会などの会費(補助費等)	26,000	10.1%
			⑧その他(維持補修費、予備費など)	2,000	8.2%
	316,000			316,000	

八潮家では、収入の約54パーセントが給料(市税)となっており、残りは、実家からの援助(国・県からの支出金など)や銀行からの借入(市債)などで賄っています。

また、支出では、食費(人件費)が一番多く、次いで医療費(扶助費)、衣料代・光熱水費(物件費)、借金の返済(公債費)、家の増改築費(普通建設事業費)の順となっています。

本年7月1日から施行されます！

「八潮市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例」通称「空き缶等持ち去り禁止条例」が施行されます。

私も平成15年9月議会で、早期に制定をする必要があると一般質問で提言しました。(6年かかりました)残念ながら近隣4市1町で、一番「遅い!」条例の制定です。

市全体の年間の損害額はかなりの金額です。説明によると条例施行後、市内約3,200箇所あるゴミ集積所を職員が2班体制でパトロールすること。

市民の皆さんも、持ち去り行為を見たら、市役所へ連絡をお願いします。

◎我が家の息子(高3)も今年は大学受験の年?です。どんな進路に進むのか楽しみであり、不安でもあります。(親バカでスイマセン!)

読者の声

先日、ある方(大瀬在住)から一通のお手紙をいただきました。

内容を抜粋してご紹介します。

○市議会・議員が活動している姿が見えづらい。(選挙の時だけ活動している)

○区画整理以外の場所の排水問題(排水路)が深刻であり早急に改善を。

○市として震災関連の情報(援助物資の受け入れ)が少なすぎる。

以上、大きく3点について厳しいご意見をいただきました。私自身の活動もまだ不十分であり、自分自身の反省を含めて、真摯に受け止めたいと思います。また、私自身に対する激励の言葉の添えられており、感謝申し上げます。

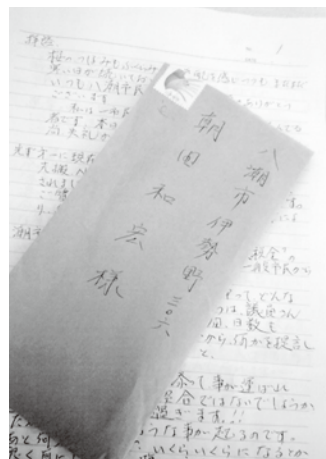
是非、皆さんも素朴な疑問、質問等、ありましたら遠慮なくご連絡下さい。

連絡先 朝田(携帯) 090-3402-6388

shigisen-asada@docomo.ne.jp (HP)

asayan@biscuit.ocn.ne.jp (PC)

※ 匿名の場合は、ご返答出来ない場合がありますのでご了承下さい。



和宏の独り言... ~ラスト・スパート~

皆さん、こんにちは!

間もなく5月、木々の新緑が眩しく、街角では鮮やかな花々が綺麗に咲き、私達の心を和ませてくれます。皆さん、お変わりありませんか。

さて、4月から新年度がスタートしました。会社や学校、それぞれ新しい部署や進級された方など約1ヶ月が経過しようとしていますが、そろそろ新生活に慣れる頃だと思います。それぞれの立場、役割で、さらにご活躍されることをご祈念いたします。

私自身も大学4年目がスタートしました。

40歳を機に、大学へ行くことを決意、学生、家業、議員と「3足のわらじ」を履いて3年が経過しました。

(かなり不器用なので、周囲の皆さんにご迷惑をお掛けてしています。)

当然ですが、大学を卒業するには「単位」を取得することが必要となります。

お陰さまで、卒業単位(124単位)まで、あと20単位となり、順調にいけば留年せずに大学を無事、卒業することが出来ます。

3年間で振り返ると、様々なことがありましたが、最後の一年も、気を抜かずの一つでも多くの事を学び、それを今後の活動の「糧」にしていきたいと思います。

「大学を卒業する」ということは、「ゴール」ではなく、人生の「通過点」と考えます。学生生活の「ラスト・スパート」の一年にしますので、皆様のご指導お願いします。



◎お知らせ◎



平成23年 あさだ和宏を育てる会・日帰り親睦旅行のご案内

甲州さくらんぼ狩り(食べ放題)と山梨路

○日 時 6月5日(日)

○行き先 山梨県 会費・大人5,900円 子供3,900円

(昼食代・さくらんぼ狩り代含む)

○定 員 180名(大型バス4台)※定員になり次第、締切りとなります。

○申し込み先 あさだ商店、または役員までご連絡下さい。

○問い合わせ 朝田(議員) 090-3402-6388

※尚、今回、参加費の一部を、東北太平洋沖地震の被災地への義援金として寄付させていただく予定です。